

II 各教科の正答率、問題の内容及び所見・解説

5 英語

(1) 正答率

問題	配点	正答		一部正答		誤答		無答		通過率 率=得点計 (%) (人数×配点)	
		数	率 (%)	数	率 (%)	数	率 (%)	数	率 (%)		
1	問題 1	2	276	73.2	0	0.0	101	26.8	0	0.0	73.2
	問題 2	2	272	72.1	0	0.0	105	27.9	0	0.0	72.1
	問題 3	2	291	77.2	0	0.0	86	22.8	0	0.0	77.2
	問題 4	2	194	51.5	0	0.0	183	48.5	0	0.0	51.5
	問題 5	2	184	48.8	0	0.0	192	50.9	1	0.3	48.8
	問題 6 (1)	3	300	79.6	0	0.0	76	20.2	1	0.3	79.6
	問題 6 (2)	3	281	74.5	2	0.5	84	22.3	10	2.7	74.8
	問題 6 (3)	3	149	39.5	66	17.5	160	42.4	2	0.5	47.9
	問題 7 (1)	3	303	80.4	0	0.0	74	19.6	0	0.0	80.4
	問題 7 (2)	3	173	45.9	0	0.0	204	54.1	0	0.0	45.9
問題 7 (3)	3	235	62.3	0	0.0	142	37.7	0	0.0	62.3	
2	A	3	243	64.5	18	4.8	86	22.8	30	8.0	67.4
	B	3	199	52.8	21	5.6	143	37.9	14	3.7	56.2
	C	3	145	38.5	14	3.7	196	52.0	22	5.8	40.6
	D	3	301	79.8	5	1.3	47	12.5	24	6.4	80.7
3	問 1	3	299	79.3	0	0.0	77	20.4	1	0.3	79.3
	問 2	3	174	46.2	7	1.9	154	40.8	42	11.1	47.4
	問 3	3	211	56.0	1	0.3	158	41.9	7	1.9	56.1
	問 4	3	252	66.8	0	0.0	122	32.4	3	0.8	66.8
	問 5	4	254	67.4	12	3.2	53	14.1	58	15.4	69.6
	問 6	4	117	31.0	47	12.5	156	41.4	57	15.1	37.4
4	問 1	3	73	19.4	0	0.0	266	70.6	37	9.8	19.4
	問 2	4	198	52.5	0	0.0	178	47.2	1	0.3	52.5
	問 3	4	101	26.8	7	1.9	261	69.2	8	2.1	28.1
	問 4	3	105	27.9	4	1.1	212	56.2	56	14.9	28.6
	問 5	4	72	19.1	40	10.6	131	34.7	134	35.5	25.7
	問 6	4	112	29.7	39	10.3	143	37.9	83	22.0	34.7
	問 7	4	148	39.3	0	0.0	225	59.7	4	1.1	39.3
	問 8	4	49	13.0	43	11.4	118	31.3	167	44.3	18.6
5		10	32	8.5	285	75.6	33	8.8	27	7.2	50.4

(小数点以下第2位を四捨五入しているため、%の合計が100にならない場合がある。)

(2) 問題の内容

- 1 会話やまとまりのある英語を聞いて、概要や要点を聞き取る。
- 問題 1～3 外出の予定や将来の夢、道案内など、日常的な場面の会話を聞いて、絵や図のなかから、質問に対する答えとして適切なものを選ぶ。
- 問題 4、5 友達の誕生日会の一場面や、宿題についての親子の会話の一場面といった、「ある場面」を説明する英文を聞いて、質問に対する答えとして適切な表現を選ぶ。
- 問題 6 Emi は来月オーストラリアでホームステイをすることになり、ホームステイの期間やオーストラリアの学校でどんなことを話すのかについて、Mr. Jones と会話をしている。その会話を聞き取り、内容について日本語で答える。
- 問題 7 中学生の Yuka が、エネルギー問題や食糧問題などの世界の問題についてのスピーチを英語でおこなっている。そのスピーチを聞き取り、内容について英語の質問に対する答えとして適切なものを選ぶ。

- 2 留学生の友だちをお花見に誘うための案内を英語で作成する事を想定し、日本語の案内をもとに、英文の空欄にあてはまる語をそれぞれ書き、英語で案内文を完成させる。
- 3 Satoru と Takao、Mike は、卒業を前にして、担任の先生である Ms. Aoki に写真のアルバムをつくってあげる計画を立てていた。Satoru はクラスの友だちに写真集めを呼びかけた。数日後、修学旅行の写真や合唱コンクールの写真が集まった。この英文を読んで、あらすじや大切な部分を読み取る。
- 4 Akiko と Masao、ALT の Mr. Miller が、Akiko がおこなった将来の夢についての英語でのスピーチをきっかけに、Akiko と Masao の将来の夢についての会話をしている。Akiko は理科の先生になりたいと考えており、Masao は「おばが入院している病院にお見舞いに行った際、小さな女の子に自分の描いた絵をあげたら喜んでもらった」という病院での経験から、子供たちの本のための絵を描きたいと考えている。この3人の会話文を読んで、あらすじや要点を読み取り、場面に応じて英語で適切に表現する。
- 5 Which do you like to do in your free time, stay at home or go out?という質問に対して、2つの条件に従って5文以上の英文で書く。〔条件〕①として、1文目は I like to に続けて〔質問〕に対する答えを書き、〔条件〕②として、2文目以降はその理由が伝わるように4文以上で書くように指示されている。

(3) 所見・解説

- 1 会話やまとまりのある英語を聞いて、概要や要点を聞き取る力をみようとしたものである。
- 問題1 Andy が次の日曜日に行く予定の場所を選ぶ問題である。Then を用いて雨の降る心配があるなら博物館へ行くと言っているので、正答はイとなる。
- 問題2 Takeshi の将来の夢を選ぶ問題である。幼い頃はサッカー選手になりたかったが、今は消防士になりたいと言っているので、正答はアとなる。
- 問題3 「さくら駅」の行き方を聞いて、さくら駅の場所を選ぶ問題である。説明をもとにウの Chuo Station で Yellow Line に乗り換え、そこから二駅たどると目的地の Sakura Station となり、正答はイとなる。誤答としてはウが最も多かった。これは乗り換える駅のヒントとなる fifth と、目的地とする駅のヒントとなる second station が正確に聞き取れなかったためと考えられる。
- 問題4 Judy の誕生日会から Naoko が帰るときに言う適切な言葉を選ぶ問題で、正答はア“I had a very good time today.”となる。
- 問題5 宿題を終えずにテレビゲームをしている息子に、母親が宿題を促す状況なので、正答はウ“I don’t think you should play that now.”となる。これらの問題では、会話中の場面や状況をよく整理して情報を正確に理解する力が求められる。場面に応じて、適切に対応できる力を身に付けさせたい。
- 問題6 まとまった長さの会話を聞き取り、内容について日本語で書く問題である。
- (1) Emi の発言“For fifteen days.”から正答は15日間となる。
- (2) Emi の発言“On the weekend, I’ll go to a zoo.”から正答は動物園となる。
- (3) Mr. Jones の提案したことが問われているので、Mr. Jones の発言“Then, how about talking about some traditional events in Japan?”から正答は(日本の)伝統文化となる。誤答には、traditional events が正確に聞き取れておらず、会話文最後にある Setubun or Hinamatsuri の語句から解答を導いたと思われるものが多くみられた。会話の概要や会話中の大切な情報を正確に聞き取る力が求められる。
- 問題7 まとまった長さのスピーチを聞き取り、内容についての英語の質問に答える問題である。
- (1) Yuka のスピーチの“Last month I joined a volunteer group to clean our town.”から正答はウ“Last month.”となる。
- (2) “But we also know that people in Japan buy too much food to eat.”という1文から正答はエ“People buy too much food to eat.”となる。
- (3) “I’ve already started to use my own bag when I go shopping.”という1文に注目すると、正答はア“To use her own bag.”となる。まとまりのある英語を聞いて、その概要や情報を正確に聞き取る力が必要である。
- 「聞くこと」の指導においては、問題1のようなやや短めの英語を聞くことから慣れさせ、継続的に指導をすることが重要である。さらに、問題6や問題7のようなまとまりのある英語については、概要や要

点を適切に把握するために、情報を正確にメモするなどの工夫をして、その概要や大切な情報を正確に聞き取る力を身に付けさせたい。

- 2 身近な場面に関する英文を完成させることを通じて、基本的な語や文法事項が定着しているかをみようとしてみたものである。
- A 「春」 spring の綴りを問う問題である。
 - B 「火曜日」 Tuesday の綴りを問う問題である。小文字で書き出す誤答は少なかったが、Th で書き出す誤答が目立ち、Thursday と混同したものと考えられる。季節・月・曜日の綴りは確実に身に付けさせたい。
 - C 動詞 bring の用法と綴りを問う問題である。動詞の意味を確認し、フレーズで覚えさせたい。
 - D 接続詞の If を答える問題である。通過率が高かったのは、比較的綴りが易しく、文脈から「条件」を表す接続詞であると判断できたからだと考えられる。接続詞の意味と用法を定着させるため、接続詞の後に節をつなげて書く習慣を身に付けさせたい。

- 3 まとまった長さの英文を読んで、あらすじや大切な部分を読み取る力と、場面に応じて英語で適切に表現する力をみようとしてみたものである。

- 問1 本文の内容に合うように、本文中の **A** ~ **C** のいずれかに、“I’ll ask my classmates tomorrow.” という1文を補う問題である。Satoru の母親が“You can ask your friends.”と言っていることから **B** に補うのが最も適切である。**A** を選んだ誤答が多く、その後の Mike や Takako が言った内容を十分読まずに答えたものと考えられる。
- 問2 日本語の意味を参考に、英文の空欄にあてはまる適切な1語を書く問題である。指示文に「彼女が私たちとの時間を思い出すことができます」という意味になるように、とあるので、思い出すという動詞 remember が正答となる。文構造をしっかり読み取り、基本的な語彙や適切な動詞を書く力を身に付けさせたい。
- 問3 指示された語を適切な形に変える問題である。「金閣寺で私たちが撮った写真」となるようにするためには、take を過去形にした took が正答となる。誤答には taked や taken と答えたものが多かった。不規則変化を覚えられていない、または動詞の前に we があるにも関わらず受動態と混同してしまっていることが考えられる。機械的に不規則動詞を覚えさせるだけでなく、文章のなかで正しい動詞の形を意識させたい。
- 問4 英文の内容から判断して、空欄にあてはまる適切な1語を選ぶ問題である。続く接続詞 that に注目すれば「とても～なので・・・だ」となる so~that・・・の構文を作ることができ、正答は **E** となる。前後の語から判断するのではなく、英文全体で使われる慣用表現の使い方を定着させたい。
- 問5 本文の内容に関する英語の質問“What did Mike become interested in after the school trip to Kyoto?”に英語で答える問題である。本文の“Now, I’m interested in Japanese history.”という1文に注目して、He became interested in に続くように書けば、Japanese history が正答となる。質問文が何をたずねているのか正確に理解する力と、それに対する答えを適切な表現で書く力を身に付けさせたい。
- 問6 本文の内容に関する日本語の質問に日本語で答える問題である。この問題は、5段落目の後半 Through the contest 以降の文を読み取ることで、例えば「全力を尽くすことが大切だということ」と解答できる。誤答には、本文の該当箇所を理解しているものの日本語で適切に答えることができなかつたと考えられるものや、自分自身の思い出から答えてしまったと思われるものが多くみられた。本文の大切な部分を正確に読み取る力を身に付けさせたい。
- 語、連語及び慣用表現や文法事項の定着は、言語活動の充実と切り離して考えることはできない。様々な言語活動を通して、理解が不十分と思われる事項の確実な定着を図りたい。

- 4 会話文を読んで、あらすじや要点を読み取り、場面に応じて英語で適切に表現する力をみようとしてみたものである。

- 問1 英文の空欄に適切な語を書く問題である。I was nervous と **A** の前後の in と of から考えて、正答は front となる。「クラスメートの前で英語を話さなくてはならなかった」という意味になるように、連語 in front of を使えるかどうかのポイントとなる。英文の流れに合わせて連語などを使えるようにしたい。

- 問2 会話文中で、あてはまる適切な英文を選ぶ問題である。解答は Akiko の発言から「I want to be a science teacher.」となるが、最も多い誤答はエで、Akiko の夢や将来について話している文章から判断できなかったものと考えられる。
- 問3 単語を正しい順序に並び替えて英文を完成させる問題である。正答は *your dream will come true.* であり、I hope に続く従属節の主語 *your dream* のあと、*come true* という動詞と形容詞を用いた連語を書くことで英文を完成させることができる。
- 問4 英文の空欄にあてはまる1語を、本文中に使われている語の形を変えて書く問題である。「その女の子は～し始めた」という意味になるように書く。不定詞の *to* に続くので動詞の原形である *cry* が正答となる。誤答として *cried* や *crying* など本文中に使われている語のまま、原形になっていなかった解答が多くみられた。これは、不定詞の後ろには動詞の原形が続くという文法事項の定着ができていないためと考えられる。
- 問5 本文の内容に関する英語の質問に英語で答える問題である。質問が「What did Masao decide to do for the little girl when he started to leave the waiting room at the hospital?」なので、動詞 *decide* に注目すれば、Masao の発言のなかに「So I decided to give her all the pictures.」を見つけることができる。解答は *He decided to give her all the pictures.* であるが、誤答には、問題の意図はとらえていたが、語法、綴り、文の構造など複数の誤りのあるもの、問題に正対していないものなどがあつた。Masao の発言のなかから鍵となるフレーズがみつけれなかったものと考えられる。英語の質問文が何をたずねているのか適切に理解する力と、適切な表現で英語を書く力を身に付けさせたい。
- 問6 本文の内容に関する日本語の質問に日本語で答える問題である。解答は「子供たちの本のための絵を描くこと」であるが、この問題は、Masao の発言のなかの「Actually, I want to draw pictures for children's books in the future.」の文を読み取ることで解答できる。誤答には、動物の絵を描く等といったものが多くみられた。これは、正答の鍵となる文を見つけることはできていたが、その文の解釈が誤っていたためと考えられる。また医者になりたいというものも多くみられた。理由として、絵を描いてあげたエピソードを落としてしまったことや、話の舞台が病院であったことが考えられる。本文の要旨を素早く読み取る力を身に付けさせたい。
- 問7 本文の内容と合う英文を選ぶ問題である。Masao の発言「But when I see her next time, I'll tell her what happened at the hospital.」と、そのあとの Akiko の発言「I think she'll be glad to hear that you've found your dream.」から、解答はエ「Masao will tell his aunt about his dream when he sees her next time.」となるが、最も多い誤答はウであり、問6と同様に病院でのやりとりのみに着目して、答えを導き出してしまったものと考えられる。
- 問8 会話の流れに合うように5語以上の英文を1文書く問題である。その次の文が「At the convenience store near my house.」であるから、「どこで小さい女の子とその母親に会ったか」を問う英文になるように書くので、正答は *Where did you see them?* などとなる。Where で始まる英文は理解しているが、文法上正しい英文が書けていなかったり、誤った代名詞を使っていたりするものがあつた。また無答も多くみられた。

以上のような誤答の例を参考に、文法事項については言語活動と効果的に関連付けて定着を図り、まとまりをもって整理する習慣を身に付けさせたい。

- 5 与えられた〔条件〕に従い、まとめた内容を英語で適切に表現できるかをみようとしたものである。解答の仕方として、①は〔質問〕に対して正答例のように、*I like to* のあとに *stay at home* か *go out* を続け、②に同じ内容の繰り返しを避けて①の理由を書くのがポイントである。
- 誤答としては、文の構造や綴り字に関するものが多かった。例えば、*I like to cooking.* や *I like go to the sea.* など不定詞の用法に関するものである。綴り字では、例えば *because* を *becouse* と書いたり、*listening* を *lising* と書いたりするなど、よく用いる動詞や表現に多くの誤りがみられた。そのほか、動詞 *like* の多用など同じ内容や表現を繰り返す、〔質問〕の内容に正対できておらず①で *I like to do in my free time.* と答えてしまう等の誤りがみられた。
- 基本的な語彙や構文の定着を図るとともに、内容に一貫性のある文章を書けているか、同じ内容の文を無用に繰り返してはいないかなどに注意を払って、自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書く力を充実させたい。